

令和7年

秋の火災予防運動

令和7年度全国統一防火標語

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

11/9日 11/15土

仙台市内の火災件数
令和6年中

247件

全国一斉に秋の火災予防運動を実施しています。火災が多くなる時季を前に、ご自宅の火災予防に大切なポイントを確認しましょう!!

主な火災原因

放火 35件

火災原因ワースト 同数 1位

コンロ 35件



出火件数に占める割合 (疑い含む) 14.2%

火災をなくすためのポイント

- ごみは決められた曜日・時間に出す
- 家の周りに燃えやすい物を置かない
- 地域ぐるみでの対策



出火件数に占める割合 14.2%

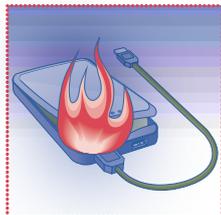
火災をなくすためのポイント

- 調理中はその場から離れない
- 安全装置(Siセフ)付きコンロの推奨
- コンロ周りを整理整頓・清掃する

火災原因ワースト

3位

電気機器 24件



出火件数に占める割合 9.7%

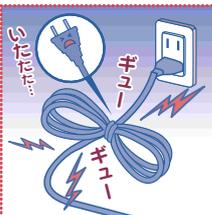
火災をなくすためのポイント

- リチウムイオン電池→裏面に記載
- 電子レンジに使用できない容器に注意
- 使用しない家電のプラグを抜く

火災原因ワースト

4位

電灯・電話等の配線 21件



出火件数に占める割合 8.5%

火災をなくすためのポイント

- 束ねて使用しない
- 家具など重い物を乗せない
- コードを引っ張って抜かない

火災原因ワースト

5位

たばこ 19件

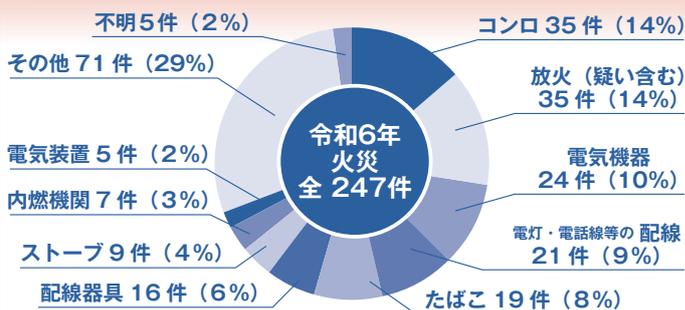


出火件数に占める割合 7.7%

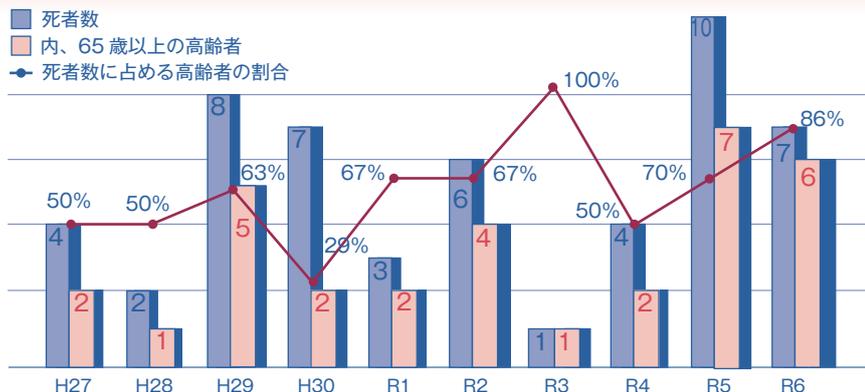
火災をなくすためのポイント

- 寝たばこをしない
- 灰皿に置いたまま離れない
- 吸い殻は水に浸してからごみに出す

出火原因の内訳※小数点以下四捨五入



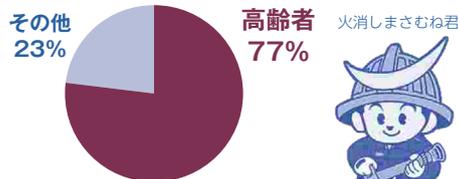
住宅火災の死者数推移※放火自殺者を除く



令和6年 火災による死者・負傷者数

死者数 9名 (前年比-5名)
負傷者数 50名 (前年比+11名)

65歳以上 高齢者死者の割合



仙台市消防局
SENDAI CITY FIRE BUREAU



伊達家伯記念会協力

電気関係を原因とする火災が増えています!!

電気関係の火災 66件

※仙台市火災統計上の「電気機器」「電灯・電話等の配線」「配線器具」「電気装置」の合計

火災をなくすためのポイント

- ポイント1 電気製品は取扱説明書をよく読み適切な場所で正しく使う。
- ポイント2 洗面所やトイレなどの水回りや冷蔵庫の裏など、湿気やホコリのたまりやすい場所のコンセント周りはこちらに掃除する。(使わない機器のプラグは抜いておく。)
- ポイント3 製造から長期間経過した電気製品は、異常を感じたら使用をやめて販売店などに相談する。

電気は暮らしに身近で欠かせないもの。でも、使い方を間違えると火災の原因になってしまうので要注意!!

こんな使い方はキケン!!

タコ足配線



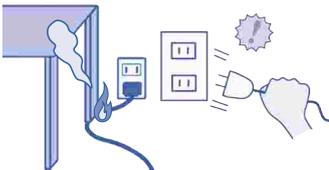
最大消費電力を超過して発火

ほこりや水分が付着



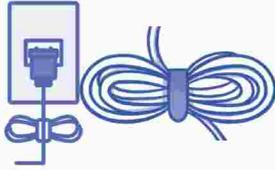
トラッキング現象で発火

配線を踏む・ひっぱる



断線・ショートして出火

配線を束ねたまま使用



発熱して発火の危険が!!

ご存じですか!?

『感震ブレーカー』

地震の揺れを感知して、電気を自動的に止めてくれる器具(ブレーカー)です。

なぜ電気を止めなければならないの?

地震によって火災が発生する原因は...

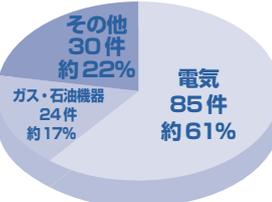
- ・倒れた家具の下敷きになって断線した電気コード
- ・電気ストーブの上に落下した洗濯物
- ・ベッドに落ちた電気スタンド
- ・照明の配線が天井裏で損傷

火災発生!

過去の大地震後の火災 — 半数以上は電気が原因

阪神・淡路大震災

東日本大震災



感震ブレーカーの種類

分電盤内蔵型



分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知して電気を遮断。

分電盤後付型



分電盤に外付けしたセンサーが揺れを感知して電気を遮断。

コンセント型



コンセント内蔵のセンサーが揺れを感知して電気を遮断。

簡易型



バネの作動や重りの落下でブレーカースイッチを落とす。

リチウムイオン電池等を原因とする火災に注意!

リチウムイオン電池等の処分方法

リチウムイオン電池等搭載製品は、使用・処分方法を必ず守ること!

- ・衝撃を与えない、高温下に放置しない
- ・家庭ごみ等に混ぜて捨てない



家庭ごみ等への混入により、ごみ収集車や処理施設で火災が発生し、使用不能となる事例が全国で多発しています。

対象となるもの

小型充電式電池 (リチウムイオン電池、ニッケル水素電池、ニカド電池)



※電動アシスト自転車用のバッテリーも対象です。

電池が本体から容易に取り外せないものは、そのままお出しください。

(スマートフォン、モバイルバッテリー、加熱式たばこ、電動歯ブラシなど)



※30cmを超えるものは出せません。「粗大ごみ」として出してください。

収集日

「缶・びん・ペットボトル、廃乾電池類」の収集日 (週1回)

出し方

①電池は、端子部分にテープを貼り、絶縁を行ってから出してください。



②透明の袋に入れて、黄色の回収箱に入れてください。



家庭ごみ指定袋やプラスチック資源指定袋には絶対に入れないようお願いします。

仙台市消防局
☎ 234-1111

青葉消防署
☎ 234-1121

宮城野消防署
☎ 284-9211

若林消防署
☎ 282-0119

太白消防署
☎ 244-1119

泉消防署
☎ 373-0119

宮城消防署
☎ 392-8119

仙台防火委員会



公益社団法人
仙台市防災安全協会

仙台市ホームページ

もっと火災予防を知りたい方は

